

抜本的見直しに向けた取組状況

(法人名)

(株) 湘南国際村協会

抜本的見直しに向けた取組状況

30年4月～
31年3月

1 改訂第四次経営計画における取組の実施

平成30年度は、改訂第四次経営計画に基づき、次に掲げる取組などを進めた結果、宿泊者数については、計画値を1,845人(前年度比2,078人)上回る35,145人を確保した。また、売上高については、計画値を14百万円(前年度比17百万円)上回る611百万円となった。

- ・ リピーターの安定的確保をめざした重点顧客への定期的訪問
- ・ 新規顧客獲得につなげる新規問合せへのフォロー
- ・ 新規顧客開拓をめざした、神奈川県の関係団体に対する理事会等の場での直接説明、会員へのリーフレット送付などによる利用働きかけ
- ・ 新規顧客開拓をめざした、研修施設検索サイトへの登録
- ・ 県と連携した会議開催支援制度等によるNII湘南会議などの国際会議や学会の受注(全件数:36件)
- ・ ホームページ全面リニューアル
- ・ 利用事例なども記載したコンパクトなリーフレットの作成
- ・ 施設のPRと閑散期の有効活用を目的とした、ドラマや映画、CMなどのロケ誘致

2 営業利益

営業費用については計画値を7百万円(前年度比△104百万円)下回る額に抑え、営業利益は計画値を20百万円上回る84百万円となった。

所管課の指導・調整内容等

県は、改訂第四次経営計画における取組が着実に実施されるよう、国際会議の誘致・定着への支援などを進めてきた。また、村センター建物の区分所有者として、村センターの大規模修繕の簡素・効率的な実施にも取り組んできたところである。

今後も県のネットワークを活用して、企業・団体の村センターの利用増や国際会議の誘致に、村協会と協働して取り組んでいく。

※ 必要に応じて資料を添付してください。

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要 (2019年7月1日現在)

法人名	(株) 湘南国際村協会				
設立年月日	平成元年10月17日	代表者名	代表取締役社長 金子 眞理子		
所在地	三浦郡葉山町上山口1560-39	電話番号	046-855-1811		
基本財産等	494,000,000 円	県出資額	1,020,000,000 円	県出資率	40.8 %
		※ 評価額	201,552,000 円	※ 評価額から算出	

2 法人運営における現状の課題

- ① 湘南国際村基本計画を踏まえた事業の展開
- ② 安定的な売上の確保
- ③ コスト管理の徹底
- ④ 計画的な修繕の実施・新たな修繕計画の準備

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の()内に目標を、上段に実績を記載してください。

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	3年度	4年度	年度自己評価
1	宿泊人数	人	35,145 (33,300)	(33,600)	(33,400)	(34,200)	(34,500)	A
	自己評価の理由				今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)			
	国際会議・学会などの積極的誘致や、重点顧客(リピーター)等の囲い込み、ネットを活用した新規顧客の開拓に努めるとともに、湘南国際村センターの認知度の向上とわかりやすい情報提供を目指して、ホームページの全面リニューアル、コンパクトな案内リーフレットの新規作成などを行った。 このような営業努力もあって、企業研修が堅調に推移したことや、大型の国際会議の利用に支えられ、年度事業計画を上回る宿泊客を獲得することができたため。				引続き改訂第四次経営計画の目標を達成するよう経営改善に取り組んでいく。			
	備考							

No.	項目	単位	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	3年度	4年度	年度自己評価
2	売上高	百万円	611 (597)	(602)	(632)	(642)	(645)	A
	自己評価の理由				今後の取組方針 (目標未達の場合は必ず記載)			
	国際会議・学会などの積極的誘致や、重点顧客(リピーター)等のフォローなどにより、企業研修が堅調に推移したことや、客単価の高い大型の国際会議の利用に支えられ、営業収益についても、年度事業計画を上回ったため。				引続き改訂第四次経営計画の目標を達成するよう経営改善に取り組んでいく。			
	備考							

No.	項目	単位	30年度	元年度 (2019年度)	2年度	3年度	4年度	年度自己評価
3	営業利益	百万円	84 (64)	(63)	(71)	(80)	(84)	A
	自己評価の理由				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	<p>営業費用について計画値を7百万円(前年度比△104百万円)下回る額に抑えた結果、営業利益が年度計画を20百万円上回る84百万円となったため。</p> <p>※参考：営業費用前年比マイナス要因 2017年度決算において実施した約11億円の減損処理による減価償却費の減少及び大規模修繕の周期による修繕費の減少等による。</p>				引続き改訂第四次経営計画の目標を達成するよう経営改善に取り組んでいく。			
	備考							

4 取組実績等についての総括（法人）

国際会議・学会などの積極的誘致や、重点顧客（リピーター）等の囲い込み、ネットを活用した新規顧客の開拓に努めるとともに、湘南国際村センターの認知度の向上とわかりやすい情報提供を目指して、ホームページの全面リニューアル、コンパクトな案内リーフレットの新規作成などを行った。このような営業努力もあって、企業研修が堅調に推移したことや、大型の国際会議の利用に支えられ、前年度を大きく上回る宿泊客を獲得し、これに伴い、営業収益についても、年度事業計画を上回った。

営業費用について計画値を7百万円(前年度比△104百万円)下回る額に抑えた結果、営業利益が年度計画を20百万円上回る84百万円となった。

5 取組実績等についての総括（所管課）

県は、改訂第四次経営計画における取組が着実に実施されるよう、国際会議の誘致・定着への支援などを進めてきた。

また、村センター建物の区分所有者として、村センターの大規模修繕の簡素・効率的な実施にも取り組んできたところである。

今後も県のネットワークを活用して、企業・団体の村センターの利用増や国際会議の誘致に、村協会と協働して取り組んでいく。

6 第三セクター等改革推進部会の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	
A	概ね着実に取組が進められている。